

大いなるお慈悲の心でおこされたご本願はますますたのもしい。

あなたの「生きる」を支えるお寺

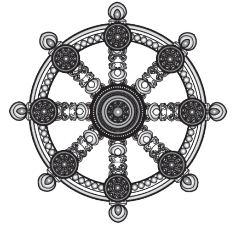
毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.361



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵 (漢見覚恵)

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス :purity.temple.since1499@gmail.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

六月二十日(土)

午前10時から正午まで

会場 正法寺町円満寺

彦根組親鸞聖人讃仰

夏の特別布教



物故者総追悼法要

ご法話

『正信念仏偈』

蒲生下組東光寺

守快信師

甲賀組嚴浄寺

森直道師



お寺の枠を超えた法友とのであい **こんき常例布教**

6月25日(木)

法話 純正寺住職

午前10時から正午まで、午後1時半から3時半まで

「歎異抄に学ぶ」

住職法話

我聞如星 われかくのごとくきく

大悲のはたらきが南無阿彌陀仏

いのちの事実

浄土真宗の作法や荘厳や教え、生き方までを二年間で総合的に学ぶ研修を「連続研修会(連研・れんけん)」と言います。今年と来年の二年間、私は二つの組の連研にスタッフとして参画させていただいています。

どちらの組の連研も、直近の研修の話し合いのテーマは「老いて亡くなること」がわかっている、受け入れられません」という問いでした。自分自身や大切な人の老・病・死を、受け入れることは簡単なことではありません。何故なら、私たち人間は基本的に若く健康で不死(長寿)を望んでいるからです。この、私の

「思い」と「目の前の事実」が重ならないことから生じるのが「苦」です。

仏教の教えの基本の一つに「四諦(四つの明らかかな真実)」があります。一つ目を「苦諦」と言います。これは、生きるということは老病死などに苦しむことだという真実です。二つ目を「集諦」と言います。この苦しみの原因は、私の心の底から溢れている「煩惱」にあるという真実です。すなわち、私の苦しみの原因は私の外にあるのではなく、私の心の中にあるということです。

純正寺の本堂横の駐車場に設置してあります伝道掲示板。五月の法語は「老い

なくなくてよい方法、病まなくてよい方法、死ななくてよい方法、たった一つだけある、それは生まれてこないこと」です。法話をお聴聞していると聞くお話です。「いつまでも若くありたいですよ、いつまでも健康でいたいですよ、いつまでも死なないでいたいですよ。それがかなう方法が一つだけあります。それは、生まれてこないことです。そうです、もう手遅れなのです」

生まれてきたら、もう老・病・死は絶対に避けることはできないということ。これが、仏教の眼から見える私のいのちの事実です。しかし、この真実を他人事として、頭では理解できるかもしれないが、心の底から納得しているかという点、私の場合は危ういものです。

心の奥底では

去る四月初旬、純正寺坊守(私の連れ合い)が突然体調を崩しました。総合病院を受診し、検査を受けた結果「聴神経腫瘍」が見つかったのです。聴神経腫瘍とは、脳腫瘍の一種で、音や平衡感覚を脳に伝える神経にできる良性の腫瘍です。ところが、坊守の腫瘍は細胞は良性でも相当な大きさ(四センチ超)になっていて、すでに脳幹や小脳をかなり圧迫している「機能的悪性腫瘍」の状態でした。

医師からは「このまま放置すると、腫瘍がさらに脳幹や小脳を圧迫し、生命に関わることになるとかねない」と言われ、手術により腫瘍を摘出しなければならぬということになりました。しかも、今回の坊守の腫瘍は脳の深部にあって、

脳幹や小脳やなどに癒着・圧迫しており、更にはMRI検査で特殊な腫瘍であることがわかったことから、手術はかなり難易度の高いものになり、手術で命を失うこともないとは言えないという説明でした。

手術を受けても受けなくても生命に危険があるという状況に、坊守は入院を前に身辺整理を始めました。「もしかしたら生きて帰ってこれないかもしれないので」と坊守は言いました。そして私も「生まれてきた限りは、病も死も逃れ難いことである」と、同じ仏教を学ぶものとして坊守の大切な考えと行動に賛同したのでした。いや、賛同したつもりでした。

そして坊守は入院し、手術を受けました。術前の執刀医からの説明で「おおよそ八時間くらいの手術にな

る予定ですので、病棟の面会ホールでお待ちください」と言われました。ところが、午前九時半に手術室に入ったものの、八時間が経っても手術終了の連絡がありません。十時間が経過した頃、看護師さんが私の所に来られて「出血のために手術を慎重に進めていますので、もう少ししばらくかかります」と言われました。さらに三時間が経ち、たまたま詰所に尋ねに行くと「まだ連絡はありません」とのこと。結局、十四時間半が経過した午前〇時に手術は終了しました。

坊守は、手術室から集中治療室に移り、私は医師から手術の結果の説明を受けて坊守に面会に行きました。麻酔からは覚めていた坊守でしたが、酸素マスクをしていてはつきりと話せない中で「生きて帰ってきたわ」

と囁きました。

面会を終えて、私は自宅に戻りました。ところが、安堵のあまり今度は私の具合が悪くなってしまったのです。顔や手が痺れて動悸がし、血圧を測るとかなり高い状態でした。ここで私も倒れたら大変なことになると思い、すぐに今帰ってきたばかりの病院の救急外来を受診したのでした。結果は事なきを得ましたが、私の心と身体は大切な人を失うかもしれないことを受け入れることができずに、悲鳴をあげていたことを知らされました。

大慈悲に包まれて

親鸞聖人は『歎異抄』の中で「お浄土に往生できることを喜ぶないのは煩惱の仕業です。少しでも病気にかかると、死ぬのではない

かと思ってしまうのです。しかし、このように煩惱をそなえた私であること、阿弥陀様は初めから知っておられて、大いなるお慈悲のお心で私をこのまま包み込んでくださっているのです」とおっしゃいました。このいのちの厳然たる事実を、煩惱いっぱいの際は心の底では受け止めることができず、いけませんでした。しかし、この愚かな私を目当てにして、いつでもどこにいてもはたらき続けてくださって、このまま包み込んでくださっている阿弥陀様の慈悲こそが、南無阿弥陀仏であつたのです。

いのちの瀬戸際に立たされた時、いよいよ阿弥陀仏お慈悲のあたたかさ頼もしさを知らされた厳しいお催促でした。終わり

今年の五月は、初夏どころか盛夏のような暑さになりました。身体がついていきません。今月は、一、二〇〇〇個のペットボトルキャップをお預かりしました。



6月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を越えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



キッズサンガ「ほとけの子ども会」

13日(土)
10:00~12:00

就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めをして、仏典童話を聞きながら仏教の感性を学びます。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

14日(日)
16:00~17:45

小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。おやつタイムもあります。

みんなの食堂ビハーラ

10日(水)・24日(水)
17:00~19:00

年齢・性別は問いません

子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる楽しい食事と学習の時間。事前にお申し込みください。

世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

14日(日)
18:00~20:00

年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

「月例法話座談会」

19日(金)
14:00~16:00

年齢・性別は問いません

日常の「何故?」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

みんな法友こんき常例布教

25日(木) 10:00~15:00

年齢性別は問いません

所属寺の枠を超えた気楽なご法座に、お聴聞の朋友の輪が広がります。今月のご法話も、純正寺住職の「歎異抄に学ぶ」です。

住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません
仏事の事や生活の事など、なんでも気軽にご相談下さい。

相談予約専用電話番号は、
090-7874-2849
相談予約専用メールアドレスは
namo-yorozu@docomo.ne.jp

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50
年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookでライブ配信もしています。

門徒会より お願い

毎年6月は、純正寺門徒会の年会費納入月になっています。前期全納の方も前期半納の方も、各地区の地区委員さんや住職にお預けいただくか、専用の赤色郵便振り込み用紙にて納入くださいますよう、お願いいたします。

純正寺の法要は「YouTube」で、常朝事は「facebooklive」で、それぞれ生配信でも録画でもご参拝・お聴聞していただけます。下記のQR(二次元)コードを、スマホのQRコードリーダーで読み込んでください。



YouTube 純正寺チャンネル



LINE 純正寺公式アカウント



純正寺公式ホームページ



facebook 常朝事チャンネル